

アンケートに関する説明資料

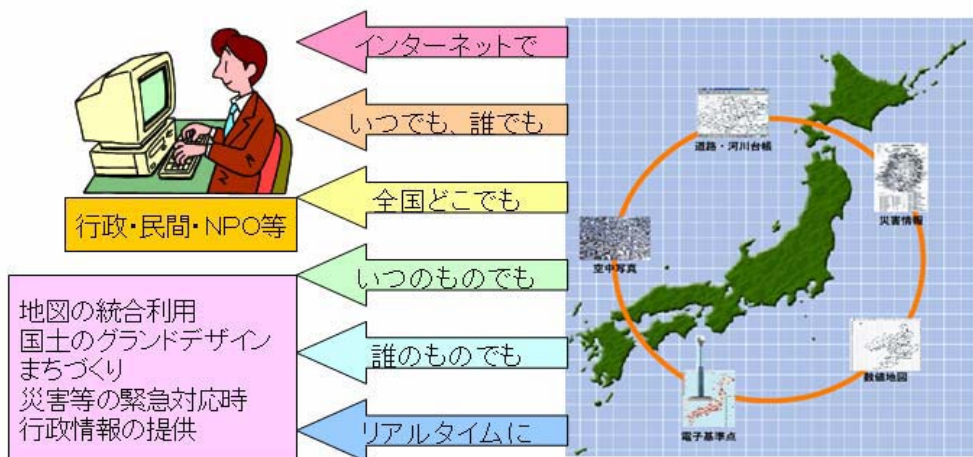
電子国土の概要

国土地理院では、「いつでも どこでも だれでも位置情報・地理情報を容易に共有できる環境の構築」を目標に掲げ、様々な地理情報をインターネット上で統合し、誰もが共有して利用できる「電子国土」の構築を提唱し、その実現に向けた取り組みを推進しています。

電子国土では、防災・福祉・安全・安心マップなどさまざまな地理情報を発信できます。

電子国土の概要

▶ 様々な地理情報を、コンピュータネットワーク上で再現するバーチャル国土

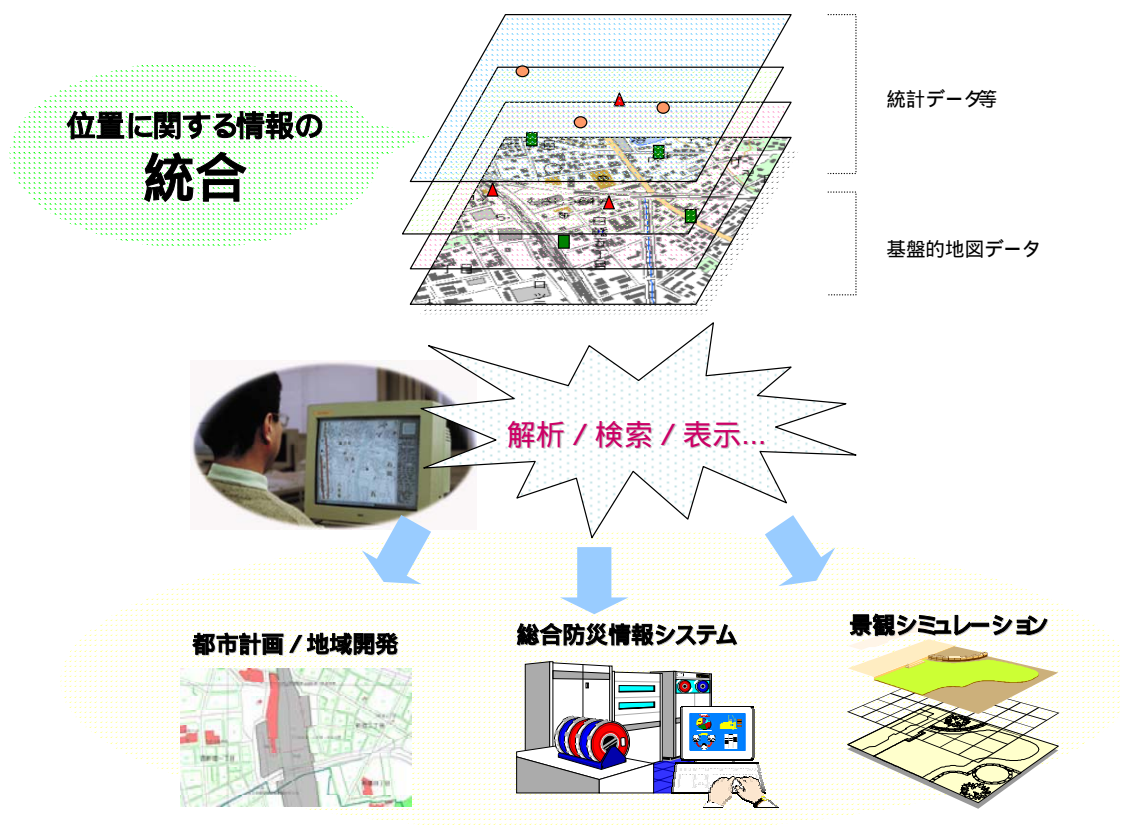


電子国土で発信できる地理情報



GIS の概要

GIS (Geographic Information System = 地理情報システム、以下「GIS」という)とは位置や空間に関するさまざまな情報を、コンピュータを用いて重ね合わせ、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にするシステムです。現在では、専門的な分野での利用から、私たちの生活の身近な利用へと、その活用範囲はひろがっています。

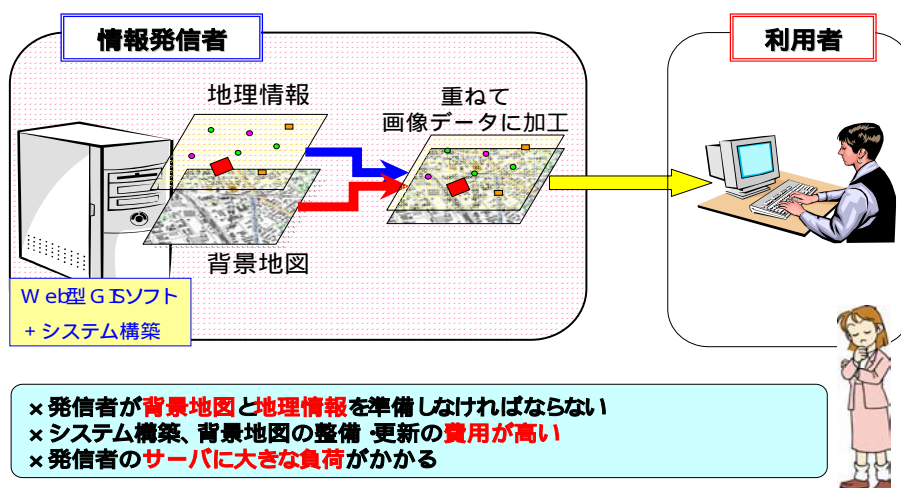


電子国土 Web システムの仕組み

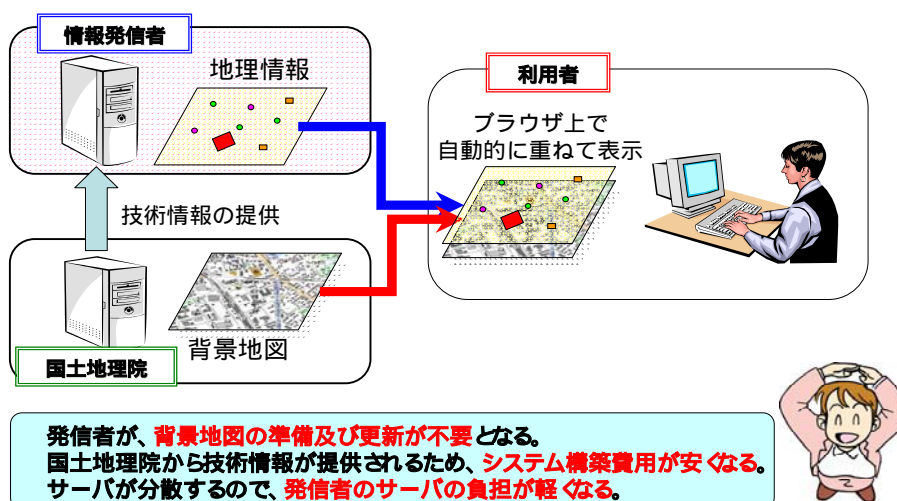
Web上の地図検索サイトのサービスでは、お店の情報等を地図上にのせて情報提供していますが、そのためには、GISソフトウェアや背景となる地図の準備が必要になります。しかし、システム構築、データ作成及び維持管理には高額な費用を必要とするため、GISの普及は進みづらいつい現状がありました。「電子国土 Web システム」は、「電子国土」を実現するためのGISツールとして、だれにでも無償でご利用頂けるように国土地理院が開発し、公開しているツールのひとつです。

従来の地理情報サイトで問題となっていたことの多くが解決しています。

従来の地理情報発信サイト



電子国土Webシステムのしくみ



電子国土ポータル概要

電子国土ポータルサイト(<http://cyberjapan.jp/>)は、電子国土の案内所のページです。全国から発信されている電子国土サイトを見る事ができます。また、「電子国土」は地図を見るだけでなく、自分で作った地理情報を発信できます。そのため、情報発信者へは電子国土に関するソフトウェア、ツール、技術情報を提供しています。

電子国土ポータル <http://cyberjapan.jp/>

お問い合わせ サイトマップ

いつでも、どこでも、だれでも
位置情報・地理情報を利用できる社会の実現

電子国土って何? | 電子国土Webを見る | 電子国土サイト一覧 | 利用方法 | 利用規約 | Q&A | 地図更新情報

電子国土の総合案内所

電子国土Webを見る

クリックすると日本全国の1/25,000地図が見られます。

国・地方公共団体の皆様へ

作図機能を使った便利な使い方

電子国土」は地図を見るだけでなく、検索や地理情報の作成ができます。

電子国土サイトを作ろう

だれでも地図を使ったホームページを簡単に作れます

技術情報のダウンロード

電子国土サイトサンプル集

電子国土サイト開設の報告

電子国土Webシステム導入ガイド

電子国土に情報を発信するためのソフトウェア、ツール、技術情報を提供しています

新着情報

2006.08.21
● 富山県射水市、電子国土サイト開設

2006.08.10
● 北陸工業専門学校、電子国土サイト開設

全国から発信している「電子国土サイト」を見る事ができます。

主要な電子国土サイト一覧

電子国土サイトを公開している国や地方公共団体などは、国土地理院の各地方測量部の管轄区域ごとに分類されています。管轄区域ごとの地方別分類のほか、発信団体別、発信情報別にもご覧いただけます。

ここに掲載されている他にも、民間企業や個人などの電子国土サイトが数多く公開されています。

[「地方別に見る」](#)
[「発信団体別に見る」](#)
[「発信情報別に見る」](#)

地方別 団体別 情報別で検索可能

そのほかの分類
全国全環境
その他

北海道地方
東北地方
関東地方
中部地方
近畿地方
中国地方
四国地方
九州地方
沖縄

電子国土[®]は地図を見るだけでなく、検索や地理情報の作成ができます。

地名や主な公共機関名で検索できる

使い方

作図機能

座標の計測

拡大 縮小

A4サイズの印刷が可能

地図のスクロール

電子国土サイトサンプル集では、ソフトウェア、ツール、技術情報をわかりやすく解説しています。必要なサンプルを組み合わせ利用していただけます。

サンプルを組み合わせ



電子国土サイトサンプル集

それぞれのサンプルでは操作に必要なAP順数を説明していますので、必要なものを組み合わせご利用ください。

連載: 電子国土サイトを作る

| | テーマ | サンプルソース(2016年) |
|-----|-----------------------------|----------------|
| 第1回 | 日本地図を表示するページを作る | ダウンロード |
| 第2回 | 地図のスクロールや拡大/縮小の機能をつける | ダウンロード |
| 第3回 | 画面中心に十字線を描き、その経緯度を表示させる | ダウンロード |
| 第4回 | マウスモードを切り替えるボタンを置く | ダウンロード |
| 第5回 | 上乗せ情報を重ね合わせる ^{NEW} | ダウンロード |

Webページに地図を表示、コントロールする(基本動作)

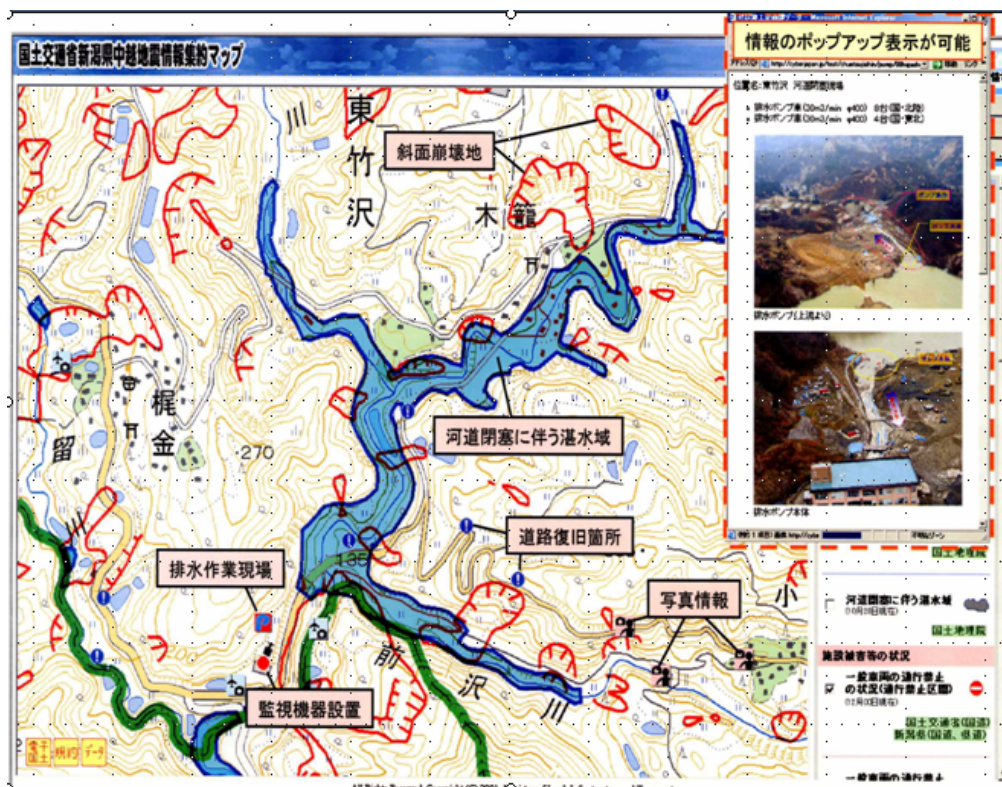
| | 解説付き | 解説無し | サンプル(2016年) |
|--|------|------|-------------|
| 電子国土Webシステムをフレームウインドウ内に表示する | 見てみる | 見てみる | ダウンロード |
| ブラウザを判別(NetScapeかInternet Explorer)し電子国土Webシステムを起動する | 見てみる | 見てみる | ダウンロード |

電子国土サイトの事例 1

国土交通省中越地震情報集約マップ

平成 16 年 10 月 23 日に発生した新潟県中越地震に伴う災害に関して、国土交通省の各部署が調査・収集した土砂災害、道路通行禁止区間・応急復旧済み区間、河道閉塞、河川施設被害等の情報を、集約マップとしてまとめたものです。

また、ボランティア組織が発信している避難所の情報を共有し、双方のサイトの情報を同じパソコンの画面上で閲覧可能としました。これにより、防災情報が迅速にワンストップで、一般ユーザに提供できるようになりました。



<http://zgate.gsi.go.jp/niigatajishin/index.htm>

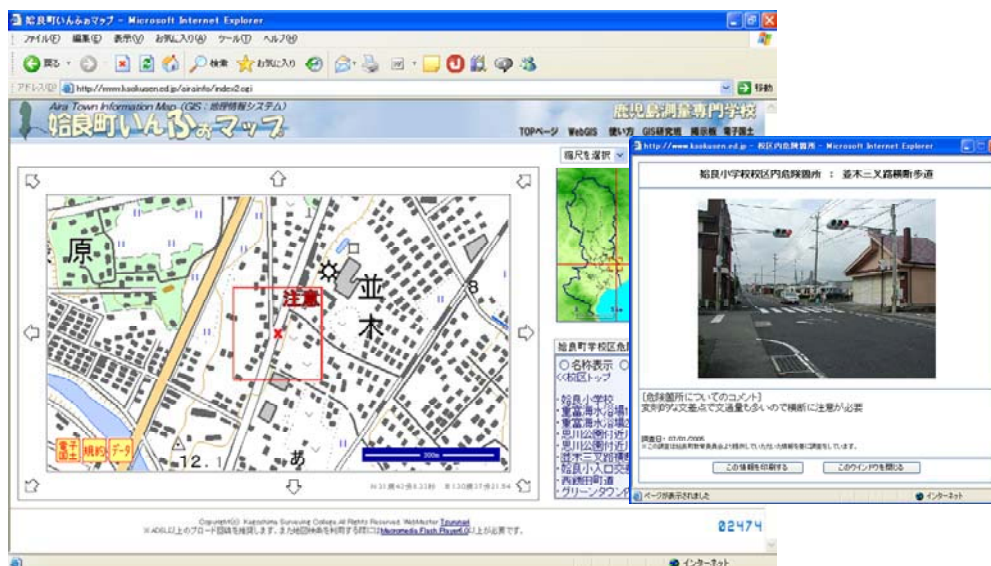
電子国土サイトの事例 2

安全 安心マップ応用事例

始良町いんぷおマップ (鹿児島測量専門学校)

鹿児島測量専門学校 GIS 研究班が「町内各学校の危険箇所マップを一元化すれば、情報の追加・更新もでき、ネット上で公開できる」と提案しました。それに賛同した学生たちや町教育委員会等が、放課後や休日を利用して120ヵ所にも及ぶ危険箇所を特定、写真を撮るなど現地調査を行い、電子国土 Web システムを利用して「始良町いんぷおマップ」を作成し、公開しています。

電子国土 Web システムは、子どもたちの安全確保に役立っています。



<http://www.ksokusen.ed.jp/airinfo/>

背景となる地図データの特徴

電子国土 Web システムで配信される、背景となる地図データは、日本全国つなぎ目のないシームレスなベクトルデータです。このことは、沖縄から北方向に辿っていくと、北海道までつなぎ目がなく到着できるということです。

また、見る範囲に合わせて様々な縮尺の地図データが表示できます。日本全国が入るものから、2万5千分の1相当の地図データ、場所によっては、2500分の1相当の地図データも表示可能です。

さらに、国土地理院発行の2万5千分1地形図に掲載されている地名・主な公共施設名による地図の検索が可能です。(今後は、郵便番号による検索機能も追加していく予定です。)

背景となる地図データの特徴

2千万分1相当

300万分1相当

20万分1相当

5万分1相当

2万5千分1相当

DMデータも表示可能

- 日本全国シームレスな地図データ
- 見る範囲に合わせた適切な縮尺のデータを表示
- 地名などによる地図検索が可能

触地図原稿作成システムの概要

触地図原稿作成システムは、晴眼者が視覚障害者のために触地図原稿を作成することを目的として開発され、国土地理院がインタ - ネットで公開している「電子国土 Web システム」を利用して触地図原稿を作成するためのソフトウェアです。1/25,000 レベルの地図データから選択した情報をもとに触地図記号を生成できる上、必要に応じて信号、バス停、タクシー乗り場、徒歩道等の情報も追加できるので、個々の視覚障害者の要望に応じたオリジナルな触地図を作成することができます。

なお、プリンタで印刷した触地図の原稿は、立体コピー - システムにより立体化することを前提としています。

触地図原稿作成の流れ



<http://zgate.gsi.go.jp/shokuchizu/>